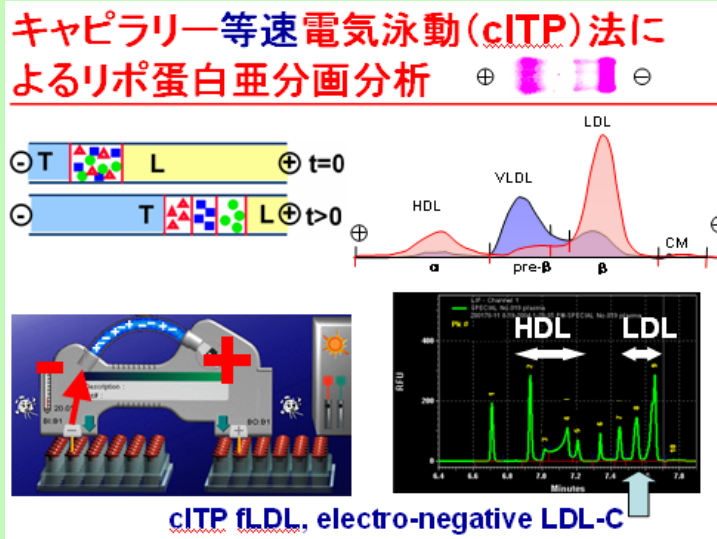


【分野】 医学・スポーツ

【キーワード】 虚血性心臓病、リポ蛋白代謝、酸化脂質、リピッドプロファイルの解析、等速電気泳動

【研究シーズの概要】

脂質はリポ蛋白として血液中に存在する。アガロース電気泳動法によるリポ蛋白分析法はブロードかつクルードな分析であったが、アミノ酸をスペーサーとして使用するキャピラリー等速電気泳動法による分析法は、短時間でピークとして、脂質プロファイル分析ができ、酸化・変性された陰性荷電LDLを同定・定量可能になった。



【特徴、効果、独創的な点】

- 本実験系では、血中陰性荷電LDL（酸化・変性LDL）の測定が、わずか5-6分で定量可能である。
- 最近話題の小型高比重LDL (small dense LDL) 分画における、陰性荷電LDLの定量も可能になった。
- 従来の動脈硬化のマーカーとの比較、現在開発中の尿中イソプロスタンの一斉分析との関連で、臨床的有用性が期待できる。

【利用、用途】

臨床研究における本分析法の有用性、特に心臓病発症予測、心血管治療薬剤等の治療効果の判定として用いて行きたい。

【知的財産等情報】 商標登録5187286号 (saku' s超超悪玉LDLスクリーニング)